

客観的な指標に基づく成績分布状況を示す資料

- ・成績評価において客観的な指標の設定は、次の学則に則り、実施している。

成績査定に関する細則第7条、試験の方法は、筆記・口述・レポート・実技とする。
成績査定に関する細則第3条、授業科目試験の成績は、1試験につき100点満点とし、60点をもってその科目の合格点とする。実習における成績の判定は実習評価基準に従い、科目ごとに総合半判定が60点以上をもって合格点とする。
成績区分は、優（80点以上）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（60点未満）
- ・客観的な指標の設定、成績分布の把握、適切な実施に関しては、その授業科目の成績評価の点数を100点満点とし、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。

各学年の平均点と相対順位を把握する成績評価方法は、以下である。
その学年の全学生の学科目の総得点から平均を求め、成績一覧表によりその学年の順位を求める。
学生の平均点と相対順位、科目ごとの平均点、その学年の平均点、科目間及び学年間での平均点の確認、差異の分析を行う。